NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を活用した情報の整理・分析・発信の力の育成

2．学校名

熊本県立南関高等学校

3．実践者名（代表者名）

髙原　良明(地理歴史科)、豊田慎一郎(国語科)

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語科「国語表現Ⅰ」・地理歴史科「世界史A」　38人

6．単元（本時の学習課題）名

「ようこそ南関高校新聞社へ!」「歴史上の人物を紹介する記事『人』を書こう」

7．目標（狙い）

本校の研究テーマである「新聞を活用したコミュニケーション能力の育成」を目指して、記事を書くために必要な情報を集め、整理するとともに、読み手に分かりやすい表現の工夫を踏まえた記事を作成させる。

8．評価の視点

国語科では「目的や相手に応じた表現の工夫ができるか」「収集、整理した情報を正確な文章で表現できるか」、地理歴史科では「架空の人物取材を通じて時代背景を理解できたか」などを評価の視点とする。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

国語科「目の前で起こる事象を取材した記事の作成」[国語表現Ⅰ:5時間]及び[NIE公開セミナー1時間]
地理歴史科「歴史上の人物を調査、取材した、人物紹介記事の作成」[世界史A:6時間]

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

≪国語科・国語表現Ⅰ≫
(1)南関高校に関する記事を用いて、新聞記事に必要な要素や構成の仕方、表現方法等を学習する。(4時間)
(2)南関高校生が太鼓演奏をする様子を収めたVTRを視聴し、それを班ごとに新聞記事にする。(1時間)
(3)できあがった記事を読み比べ、批評する(1時間)
(4)本単元で学習した読み手への心遣いは、日常のコミュニケーションにも必要だと再認識する。(1時間)
≪地理歴史科・世界史A≫
(1)「人物紹介記事」を構成している内容を読み解いて理解する。(1時間)
(2)「人物紹介記事」の対象人物と時代を設定して、記事に必要な情報を収集、整理してまとめる。(4時間)
(3)「人物紹介記事」をクラスで発表するとともに、生徒相互で評価する。(1時間)
＜留意点＞
・読み手が求める内容を意識した記事作成を行う。
・記事作成時の心遣いが有効であるかどうか、客観的な立場から改めて点検する。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞記事を書く人の立場に立つことで、読み手の興味・関心に応じた表現の方法があることを学ぶとともに、本校の教育目標である「恕(思いやりの心)」を体得することができた。また、国語科においては正しい文章表現力の育成を、地理歴史科においては学習した内容を深化することができた。

12．成果と課題

本授業実践のみでなく、本校では「新聞閲覧コーナーの設置」「NIE担当職員による新聞記事の生徒への紹介」「委員会活動における生徒からの記事紹介」などの取り組みも行った。その成果として、本校生徒(2年生対象)に行った事前アンケートで「日常生活でこれまで新聞をほとんど読んでいない」と答えた生徒のうち、約50%の生徒が「以前よりも新聞を読むようになった」と答えている。その一方で、今年度の実践は、特定教科・科目に限定されたものであり、授業、委員会活動などすべての教育活動の場面におけるNIEへの取り組みは十分とは言えず、発展させていく必要がある。